

## 研究についてご協力のお願い

戸畑共立病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や 研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして 実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は下記のお問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

研究課題名	肝切除術後門脈血栓症に対する MASLD の影響
研究責任者	主任外科部長 谷脇智
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当いたしません
本研究の目的と方法	脂肪肝に「肥満」または「2 型糖尿病」または「2 種類以上の代謝異常（高血圧や脂質異常など）」が合わさった状態を、メタボリック関連脂肪性肝疾患(MASLD (metabolic-associated steatotic liver disease) )といいます。MASLD を背景とした肝腫瘍に対して、肝切除術を行った患者さんについて、その術後に発症した肝臓の栄養血管でもある門脈という血管に血栓ができたかどうかについて検討します。そして血栓ができた場合(門脈血栓症)、その発症頻度、手術前の状態、あるいは手術術式や出血量、手術人感、術後の状態に等の危険因子について、過去当院で切除された方の症例をもとに調査します。
調査データ抽出期間	2011 年 6 月 1 日～2023 年 12 月 31 日
研究期間	戸畑共立病院倫理審査委員会審査後、委員会から発行される「倫理審査判定通知の承認日」より、研究実施機関長の研究実施許可を得てから 2025 年 7 月 31 日まで
研究に用いる情報・試料	肝悪性疾患で根治的肝切除を行った 106 例の患者を対象とする。除外基準； 1) 16 歳以下、2) 良性肝疾患に対する肝切除、3) 肝外胆管あるいは胃、腸管の合併切除を行った例、4) 門脈、肝動脈、下大静脈の再建術を施行した例、5) 術前後で下記のタイミングで造影 CT を施行されていない例。
試料・情報の他機関への提供および提供方法	該当いたしません
個人情報の取り扱い	研究対象者のカルテ情報を記録する際には、氏名の代わりに研究用番号をつけて取り扱う。研究対象者と研究用番号を連結する対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存する。また、研究成果の発表、論文化を行う際にも研究対象者が特定できる情報を使用することはない。この研究によって取得した情報は、戸畑共立病

	院外科 和田義人医師の責任の下、厳重な管理を行う。
本研究の資金源 (利益相反)	該当いたしません
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。          また研究の協力をご了承いただけない場合は研究対象者としませんので下記へお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることがございません。</p> <p>所属：戸畑共立病院 外科          電話番号：093-871-5421（代表）内線 2120          責任者：奥田康司          職位：肝臓外科部長</p>